第７号-①

小津中だより

令和４年 ３ 月 １ 日
泉大津市立小津中学校
校　長　　高橋　敏也

学校教育自己診断　ご回答ありがとうございました

本年度のアンケートより、年度初めにお示ししました学校のマネジメントプランにおける小津中学校のめざす学校像「みんなが安心　みんなで創る　あなたが輝く学校」にどれだけ近づけたのかを検証するため、質問項目の見直しを行いました。そのため、昨年度と比較できない新規の項目があります。

本年度の結果は全ての項目で肯定的回答［a：よくあてはまる］［b：ややあてはまる］の割合の合計が前年度より改善されました。結果分析を十分に行い、次年度の学校運営に反映させて頂き、生徒主体の学校づくり・授業改善を進めてまいります。また、裏面には記述いただいたご意見を載せていますので、併せてご覧下さい。また別紙の生徒のアンケート結果もぜひお子さんと一緒にご覧ください。

R03　学校教育自己診断 （保護者） 経年比較

めざす学校像　　みんなが安心　みんなで創る　あなたが輝く学校

	「みんなが安心」 の学校	令和2年度 肯定的%	令和3年度 肯定的%	前年比
1	生徒は学校へ行くのを楽しみにしている	67.9%	80.2%	12.3%
2	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	52.0%	66.0%	14.0%
3	学校は命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている	57.6%	73.3%	15.7%
4	学校は人権尊重の意識を育てようと工夫している	50.2%	67.9%	17.7%
5	学校は生徒、保護者の悩みや相談に適切に応じてくれる	60.1%	79.7%	19.6%
6	学校は学習面の課題に対してサポート体制を充実させている	新規	66.3%	
7	学校は教育方針をわかりやすく伝えている	63.3%	64.2%	0.9%
8	学校はホームページ・メール配信を活用して情報を発信している	新規	87.2%	
	「みんなで創る」 学校	令和2年度 肯定的%	令和3年度 肯定的%	前年比
9	学校は生徒自身が行事や学校生活のことを決めることを大切にしている	新規	85.2%	
10	授業では自分の意見を発表する機会や話し合う活動の時間が確保されている	新規	78.6%	
11	学校はこれからの社会を生きるために必要な力を、生徒に身につけさせようとしている	新規	64.5%	
12	生徒は自分で計画を立てて家庭学習を行っている	新規	48.8%	
13	学校は読書活動の充実に向けた取り組みを行っている	41.1%	55.8%	14.7%
14	学習評価は、学習改善につながるように、授業や通知表等を通してわかりやすく生徒に伝えられている	新規	70.4%	
15	学校はできるだけ保護者や地域に開放しようとしている	46.6%	49.0%	2.4%
16	進路に関して適切な情報提供が行われている	39.3%	51.6%	12.3%
	「あなたが輝く」 学校	令和2年度 肯定的%	令和3年度 肯定的%	前年比
17	学校の雰囲気がよく、生徒は生き生きしている	48.9%	66.0%	17.1%
18	生徒は自分の考えを積極的に表現できるような活動をしている	新規	60.6%	
19	生徒は仲間と協力しようとする活動をしている	新規	78.8%	
20	学校はiPadなどのICT機器を積極的に学習に活用しようとしている	新規	92.5%	
21	先生は生徒が努力したことを認めてくれる	67.3%	77.6%	10.3%
22	学校は授業や学校の取組みを通して、言語能力を高めようとしている	新規	54.0%	
23	学校は授業や学校の取組みを通して、情報活用能力を高めようとしている	新規	63.8%	
24	学校では生徒が将来の夢や目標について考える機会がある	新規	53.5%	

保護者の記述意見
制服について考えるルールメイキングなど、とてもよい活動だと思います。
自主性を重んじてるところ
生徒への差別をなくして欲しい
ルールメイキングは自主性や自立性を促すことにつながると思い、とても良い取り組みだと思います。
10月の校外学習は良かった。
先生は積極的な生徒だけでなく、なかなか発言できない生徒の言葉を引き出して欲しい。
生徒自身でも授業など創っていく事は自分自身で考えいく事につながるので良い事だと思います。
今年も安全な学校生活を有難うございました。
生徒が創る学校生活への取り組みは素晴らしいと思います。ですが、ルールは明確にあるべきだと思います。変更は新年度などにわかりやすく、平等な形で一律に行って頂きたいです。
成績、テストのあり方が教科や教員によって違い戸惑いを感じておりました。(テスト範囲、日時の伝え方、何度もテストを受ける事への評価が曖昧)
課題提出が端末になりやりとりが簡易になったが課題の量は他の教科や時期を考慮されているのか疑問に思う事も多いです。
今年の体育祭のダンスは創る活動で行事が少ない中、自由に子供達で決める事が多く一体感や積極性がありとても良かったです。ただ、練習などのルールが曖昧だった事、評価をするならば明確な基準を設定するべきだったと思います。(簡単でも◯◯先生の独断で決めます。など)
それぞれが創る前に、まずは認め合える努力をする為、学校では出来るだけ平等な土壌を作って頂ける事を望みます。
時節柄、変更や緊急対処が多く大変かと存じておりますが、益々のご発展を願っております。
毎日、楽しい学校生活を有難うございました。
ジャージ登校が可能になったことが良かったです。
中間、期末テストを行う教育方針の方が生徒にとってよいかと思います。
新しい制服を考える活動があったり委員会での生徒同士での活動、劇をつくるグループ活動等生徒が主体となって役割分担、協力し一つのことに取り組むことが多くとても素晴らしいことだと感じました。
授業や家庭学習でのiPadの使用制限をもっと考えてほしい。
上手く活用出来る子と出来ない子の差が大きいのではないか・・・
iPadを学習以外のことばかりに使っているように思う。
生徒が考えて制服を変える取り組みは評価できる。
制服について、もう一度考えていただきたいです!
登校時の服装が選べるようになりよかったと思います。
制服・体操服 登校など、生徒自身が決めて行動した事。(全員の生徒が行動してるかは分かりませんが)
ルールメーカーの取り組みは素晴らしいと思います。
これからは一部の生徒だけではなく、すべての生徒が主体性をもって取り組めたらもっといいと思います。
先生の指示待ちではなく、自ら考え行動にうつし失敗成功を繰り返し成長できるようになってきている。
ルールメイキングという取り組みは、自分の意見を説明し理解してもらい、どう実現させていくのかという過程を経験できるのが良いと思うが、主体の生徒会の子たちだけ活動している感じがして、その他の生徒はある程度決まったことの可否だけ決定しているイメージがある。実際に活動や話し合いを見てみたい。
体操服登校が可能になり、意見が通るということが、目に見えてわかったので、これをいかして、勉強への取り組みを生徒が進言して、活動していくというふうに持っていけないのか？
出題した課題提出にとらわれて、本来の勉強が出来ないと言うことを聞きます。授業中の課題が終わった人が、他の事が出来るという考え方があってもいいのではないでしょうか？
改善点 もう少し生徒の意見も尊重するところ
生徒発信でルールや校則を話し合う事は、非常にいい取り組みであると思います。一方で、制服の購入については、新入生の保護者が戸惑っておられる声もよく聞きます。セレモニーや入試の時、体操服でというのは、抵抗があります。
先生が生徒の意見を取り入れてくれるのでとてもありがたく思っております。
先生は生徒に丸投げし過ぎ。本来、教師がやるべき業務も「生徒の自主性」という名の下に放棄している。
教師全員とは言わないが、少なくとも今の担任は、指導しにくい生徒については何も言わなく、言いやすい生徒にだけ指導するということをしていて、生徒のやる気を削いでいる。そして、クラスがまとまらない。落ち着いて授業が受けられない。
アンケートをとり、TPOに合わせて制服か体操服かを変えることができたことご良かったです。
自主性が高まり、想像力が豊かになって目標に向けて頑張る姿勢がよく感じられるようになりました。とても良い取り組みだと思います。
新しく始まった取り組みなので仕方ないことだとは思いますが、保護者への周知や伝達が弱かったのではないかと思いました。
つぎの制服を買うか買わないかなどの情報がぎりぎりまでわからなかった為、不安が大きかったです。
生徒自身が自分達の学校について考え直す機会が出来たのは、とても良かったと思います。
時代に合わせただけの形だけの取り組みでは終わらせず、今後も続けていってもらいたいです。
考える。という所に対しては以前に比べても多い比率になっているのかと感じます。良い事だと思います。ただ考え方という所に関しては、少し疑問に思う事もあります。思春期でもあり難しいとか思いますが、もう少し先の事を考えた上で今を考えるという事を学べればと思います。
意欲があれば、前向きに取り組む子もいるとは思いますが、基本的めんどくさいが先にたつのが子供なので、宿題なしよりも、やらないといけない事と努力した子は更にプラスなど、社会に出て、バイトでも仕事でも、めんどくさいでスルー出来ることは無いと教えるのも大事かと思います。
基本的にネットありかの考え方と人間関係における礼儀等が全くなってない。子供たちは家にいてる時間より学校で不特定多数の人に接する時間の方が多いのだから人として最低限の礼儀ルールは身につけないといけない
子供が楽しそうに毎日学校に行っています

小津中だより

第７号-②

RO3　学校教育自己診断　（生徒）　経年比較				
めざす学校像　　みんなが安心　みんなで創る　あなたが輝く学校				
	「みんなが安心」 の学校	令和2年度 肯定的%	**令和3年度 肯定的%**	前年比
1	学校へ行くのが楽しい	68.5	**84.3**	15.8
2	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	86.7	**98.3**	11.6
3	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い	74.1	**92.1**	18.0
4	友達は自分の意見を尊重してくれる	新規	**94.9**	
5	道徳の授業は自分のこととして考えることができ、考えを発言しやすい	63.6	**86.4**	22.8
6	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う	87.4	**98.0**	10.6
7	先生は相談や悩み事をよく聞いてくれる	53.1	**84.5**	31.4
8	先生はいじめや校内暴力などに対応してくれる	52.2	**89.3**	37.1
9	先生は学習でわからないことがあった時、サポートしてくれる	新規	**96.0**	
10	学校の給食はおいしい	新規	**56.2**	
	「みんなで創る」 学校	令和2年度 肯定的%	**令和3年度 肯定的%**	前年比
11	授業では自分の意見を発表する機会や話し合う活動の時間が確保されている	79.0	**95.8**	16.8
12	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができている	新規	**90.9**	
13	小津中学校は、生徒が自分たちで行事や学校生活のことを決めることができる	新規	**89.7**	
14	体育大会や音楽会などの学校行事に積極的に参加している	新規	**90.9**	
15	家で自分で計画を立てて勉強をしている（学校の授業の予習や復習を含む）	新規	**70.3**	
16	家庭学習として平日1時間以上勉強をしている（学習塾・家庭教師も含む）	新規	**75.7**	
17	通知表など学習評価は、学習改善につながるように、わかりやすく生徒に伝えられている	新規	**90.0**	
18	自分でやると決めたことは，やり遂げるようにしている	80.3	**88.3**	8.0
19	自分たちで学校（や社会）は変えられると思う	新規	**74.6**	
20	自分は責任ある学校（や社会）の一員だと思う	新規	**84.0**	
	「あなたが輝く」 学校	令和2年度 肯定的%	**令和3年度 肯定的%**	前年比
21	自分には良いところがあると思う	55.0	**78.3**	23.3
22	「早寝・早起き・朝ごはん」など、より良い生活習慣を意識して生活している	61.7	**73.4**	11.7
23	自分と違う意見について考えるのは楽しい	新規	**84.0**	
24	友達と協力するのは楽しい	新規	**94.8**	
25	難しいことでも，失敗を恐れないで挑戦している	新規	**77.3**	
26	授業ではほぼ毎日ICT機器を使っている	新規	**97.7**	
27	読書をすることは好きだ	51.0	**64.5**	13.5
28	先生は自分が努力したことを認めてくれる	68.1	**89.6**	21.5
29	学校では将来の進路や生き方について考える機会がある	76.2	**95.1**	18.9
30	将来の夢や目標を持っている	69.0	**79.4**	10.4

生徒の記述意見
ルールメイキングで、校則を決める機会があって良かったと思う。自分たちで、ルールを決めることは中々ないからいい機会になったと思う。
良かった点は友達と意見を交流する時間が増えた点
生徒が主体になって取り組んでいたところ
勉強頑張り始めたこと
よかった点は自分たちでやることはこれからのことに生かされると思う
体操服登校有難かった
学校のルールが変わったところがよかった
生徒全員の意見が反映されることがない。ルールメイカーの人たちがルールを変えようと考えていても、今のルールを満足に思っている人もいるため生徒全員で作れている訳ではないところが改善点だと感じた
生徒が創るのはいいことやけど生徒ばっかり頼りすぎだと思う
校外学習で生徒が内容を決めたことがよかった
言ったことを本当におこなっている
生徒自身が主体的に考え、取り組むことができる。
生徒が分かりやすいような説明をしている。
生徒がしたいようにできることや、自分達で考えて自分と違った色々な意見に出会えることが良かった点。
よかった点は仲が深まったこと
制服のルールメイキングで体操服登校ができるようになったこと
生徒が自分たちで校則を作る「ルールメイキング」はとても良い取り組みだと思った。
生徒が校則などを変えれたりしてみんなの意見が実現したことがよかった.改善点は今のところ見当たらない.
慎重にしていたところ。
ルールメーキングプロジェクトや自習室の設置の活動はいいと思いました
ほとんどのことを本当に生徒が作っていてすごいと思った
みんなで協力できてよかったと思います
自分の将来のことについて考えれたり、仲間とすごしている未来も想像できたし、なにより過ごしやすい学校に近づいていることです。
学校にいるみんなの意見が取り入れられていてよかった。
大人になったときにこれが生きる
先生の手助けが少ないと感じることがある。
この学校のルールメイキングでの取り組みが新聞などに取り上げられていることがとても良いと思う。
自分達（みんな）で話し合い、一つのことについて考えるのはいいとこだと思った。
もう少し生徒の意見も尊重したほうがいいと思う
取り組みに積極的になる人が増えた。
「生徒が創る学校生活」と教員が言っている時点で「教師が創る学校生活」。それ以前に成績上げる努力を。
生徒自身の意見が尊重されていたところが良かった。
生徒がつくるという機会が多くあっていいと思います。そういう機会が多いからこそ、放課後の時間が委員会や生徒会の仕事に持っていかれやすかったりするので、クラブ活動や委員会活動（生徒会活動）、塾、習い事の両立がしやすいようになればもっと良くなると思います。
生徒が創るはずなのに、まだ押し付けられている感がある。もう少し生徒が創る意味を全体に話したほうが良いと思いました。
良かった点は今後何か社会に出た時に役立つようにしてくれていたこと。改善点は一部が積極的に動くので、全体にその大変さがあまり良く伝わらないこと。
みんなが他の人の意見を聞き合って、賛成や反対と言ってて考えを広めあっていたところが良かったと思いました
委員会やなんかの活動に入っていなかったら、生徒たちの意見を理解してもらっていない
生徒のみ！ではなく小津中学校全体で作った方が良いと思う
ノーチャイムになり、時間を意識するようになった。
意見の交流が多いところが良い
自分たちで考える時はあらゆる場合を考えてやるから、大人数の難しさも知れたし、自分たちでどうにかしなきゃという意識付けにもなった。
生徒がイキイキしながら取り組んでいる
iPadを使って、みんなの考えを共有して話し合いができるようになったこと
制服などの学校のルールを変えようとしてる人があるということが嬉しい
生徒がつくることで校則について詳しく知れたり、自分たちが過ごしやすくなっていいと思う。
自分らでいとりひとりで考えて行動するということにするよう考えた
生徒の考えた行事や授業が実際に採用され、行ったのは学校を生徒が創っていてよかった。
給食を暖かくしてほしい
実際生徒が作って問題がそれほど多く出てないから、生徒が考えてもいけるということがわかったからいいと思った
学校生活が楽しくなった。
強制的に3年生を送る会の出し物に参加させられている人もいるのにそれを言ったら「男気」と言う理由で断られたと聞いた
生徒の意見をアンケートにしてるのはいいと思った
意見がよく出たことはいいことだと思うけど、意見が違ったり、取り組まない人たちがいることがあるので、そこら辺を改善したらいいと思う。
3年生を送る会という行事に、有志は自由と書いていたのに、勝手に名前を書かれ、訂正して欲しいとこの行事担当の先生に言ったら、男気だ、と言われ拒否され、勝手にさせられることになった。強制的にやらせるのはおかしいと思うのでそこは絶対改善してほしい。勝手に話を進めて、勝手に有志をさせるのは、生徒が創る学校生活に当てはまっていないと思う。